

令和元年度 高田中学校通信

大ケヤキ

夢(目標)とあこがれ

「地域とともにある

魅力ある学校」

令和2年 1月 8日(水) 発行
発行責任者：校長 岩澤 一徳



3学期のスローガンは「挑」!

チーム高田

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

2020年(令和2年)となり、今日より3学期が始まりました。登校日数は3年生が45日、1・2年生が50日と大変少ない学期ですので、見通しを持って一日一日大切に過ごさせたいと思います。

始業式では、校長より生徒たちに「教育目標(自学・品性・健康)の実現」と「3学期スローガン“挑”」について話をしました。

年度のまとめとして、自ら学ぶ力を身につけ、人間として恥ずかしくない態度を示しながら体も心も健やかに成長していきましょうと呼びかけました。そのためには何事からも「逃げる」ことなく「挑む」学期にしてほしいと伝え、今学期のスローガンを「挑」の一字としました。



短い学期であるがゆえに、勢いや意気込みが大切だと思います。新しい年のスタートでもありますので、自分が決意したことに決然と挑戦する姿を求めたいと考えています。3年生は進路決定の最も重要な時期ですので「背水の陣」でやるべきことに挑んでゆくはずです。2年生は3年生のバトンを引き継ぐために真のリーダーになる自覚と実力を高めていかなければなりません。1年生も、新入生に模範を示せる中堅学年に成長する必要があります。

1年間の総まとめと新年度準備を同時並行で進めていきます。教員にとって最も多忙なこの時期ではありますが、生徒たちが何事にも挑み続け成長してゆく過程をしっかりとサポートし、成果につなげていきたいと思います。我々も生徒とともに【挑戦】して参ります。各ご家庭におかれましても、今まで同様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

幸せは、準備された心に訪れる。

「はじめてのおつかい」から

先日、妻が珍しくTVのリモコンを私から奪い取り、ある番組に見入っていた。それは「はじめてのおつかい」というずっと続いている番組でした。内容は大体想像できるかと思います。

その中で、お父さんやお母さんの深い愛情というか、涙を流しながら我が子に試練を与えても強く育てようとする姿に目頭が熱くなりました。

幼い我が子にたくましく“生きる力”を身につけさせたいとの思いがひしひしと伝わってきました。多くの親(大人)たちが忘れかけている大切なもの、育て方を教えてくれているように思いました。

思春期を迎えた難しい時期の中学生でも、同じなのではと考えたひと時でした。

【ゲームやスマホに毒されていませんか?】

ある先生の話。「この前、子どもが遊びで集まった際に、一緒にいるのに各自がスマホを見ていて、持っていない人が『独りぼっち』になると悩んでいた。子どもに携帯を持たせるか迷ってしまう。」と相談を受けたとのこと。

家族でいても各自がゲームやスマホ、車の中でも会話がなくて画面を見るケースが増えていないでしょうか?TVを消して食事をしましょうと言っていた時期もありましたが、今ではそのTV以上にゲームやスマホに毒されていると言えるかもしれません。

現代社会の移り変わりはとてつもなく早く、それらに一番敏感に対応できているのは、若者や子どもたちであり、判断力の未熟さから危険にさらされるケースが増えているように感じます。

大人たちが、ゆっくり、じっくり子どもたちと話してみる必要はないでしょうか?